



しおい広報

昭和60年11月1日発行



№215

研究大会が九月十一日から十三日までの三日間、長崎市で開催されました。北は北海道から南は沖縄まで千五百余名の社会教育関係者十名が参加し、熱心に研究の人達が集り、真剣に研究がなされました。

本町からも社会教育関係の講演は、日本人として21世紀において、どう考え、どう生きるかということについて、その方向を適確に示していた

とき、意義深く、印象深く拝聴しました。

ここにその要旨を記しますが、一時間半にわたる講演を紙面の都合上極めて短くまとめて、さらに筆者の力量不足も加わって古川師のお考えを正確に、十分にお伝えできない

のではないかと心配します。しかし、皆様方の御高察により古川師の御高設、哲学をお読みとりいただければ大へんありがとうございます。

特に第一日目の全体会での講演は、日本人として21世紀において、どう考え、どう生きるかということについて、その方向を適確に示していたとき、意義深く、印象深く拝聴しました。

ここにその要旨を記しますが、一時間半にわたる講演を紙面の都合上極めて短くまとめて、さらに筆者の力量不足も加わって古川師のお考えを正確に、十分にお伝えできない

ではないかと心配します。

祝日には国旗をあげましょ

う。

同和問題の原点

は、どん

なこと

かしらない。大人は愛する喜びを知っている。人間は、子

どもから大人へ、愛されるこ

とから愛する喜びを知るもの

へ成長しなくてはならない。

地獄も極楽もこの世にあ

る。地獄は戦争であり、極楽

は平和な世界である。

地獄と極楽に同じよう

にござります。ご

びを知つて、人間は一日も

なければならぬ。

子どもは、愛されること

が、早く子どもから大人へ成長し

なければならぬ。

かしらない。大人は愛する喜

びを知つて、人間は、子

どもから大人へ、愛されるこ

とから愛する喜びを知るもの

へ成長しなくてはならない。

地獄も極楽もこの世にあ

る。地獄は戦争であり、極楽

は平和な世界である。

地獄と極楽に同じよう

にござります。ご

びを知つて、人間は一日も

なければならぬ。

子どもは、愛されること

が、早く子どもから大人へ成長し

なければならぬ。

かしらない。大人は愛する喜

びを知つて、人間は、子

どもから大人へ、愛されるこ

とから愛する喜びを知るもの

へ成長しなくてはならない。

したがつて、人間は一日も

なければならぬ。

かしらない。大人は愛する喜

びを知つて、人間は、子

どもから大人へ、愛されるこ

とから愛する喜びを知るもの

へ成長しなくてはならない。

したがつて

告知板

11月行事予定表

3日 第1回コスマラソン大会
10:00～
文化祭

4日 文化祭

5日 民生委員会 13:30～

12日 インフル注射 川北一般1回目

13日 インフル注射 川南一般1回目

15日 高令者学級
婦人学級

17日 ファミリィースポーツ大会
(西合志)

19日 インフル東小校区 2回目

20日 インフル西小校区 2回目

28日 インフル注射 川北一般2回目

29日 インフル注射 川南一般2回目

善意の寄付金

次の方々より、町社会福祉協議会事業費としてご寄付いただきました。紙上をおかりしてお礼を申し上げます。

10日9日現在

○香典返し

久米一区 小川 一利殿
亡(妻 シノブ 71才)

○香典返し

高江出分 森 昭彦殿
亡(父 光雄 74才)

○香典返し

三万田 増田 照子殿
亡(夫 信之 85才)

○香典返し

富 佐藤 法喜殿
亡(伯母 シケ 88才)
↓
老人ホーム

短歌

11月3日	清原医院	内科
4水町	8 2 1 0 6	
11月10日	羽地医院	内科
合志町	248 0 6 0 5	
11月17日	大竹医院	産婦科
西合志町	344 3 2 3 2	
12月1日	山田医院	内科
合志町	248 1 0 0 7	
西合志町	242 2 2 3 1	
12月8日	松浦医院	内科
七城町	6 4 7 2 7	

11月曜当番医

10月泗水短歌会詠草

都井岬山より下りて乗る馬は
人なつかしく写真を怖ぢず

足立たつお

霧深き山よりのぼり来る朝日
夢うつつとも淡き光持ち

長尾はるみ

歳月は止めがたしも子の背丈
記しし障子に今は孫立つ

増田久美子

大観望の緑の原と夏空が展望
浴場の視野に余れる

福原美智子

唐突の訃の知らせまた疑ひつ
つ人の命のむなしさを知る

大島きと

夜の町水俣川に灯のゆれて栄
えしチソソ水俣思ふ

勝又千代子

長生きも過ぐれば呆けて人さ
まの笑ひの種となるも浮世か

岩下高知

萩叢や芒叢やと田楽亭

吉岡民子

花野ゆく心を若き日に戻し

村山数恵

内田つね代

待ち待ちし雨に供ふと甘譜団

子清しく作る神酒も捧げむ

出発点に並びて立てば動悸打

ち合団の旗を待つ間の長し

吉岡美奈子

老夫と下刈り終えてする昼寝

山は涼風降る蟬しぐれ

藤本のり子

軒借りて即興の句座花芒

峰隠しました現して阿蘇の霧

内村鈴子

根子岳の裾の小山も秋爛る

渡辺文子

山谷をえつつ流れ秋の雲

根子岳の裾の小山も秋爛る

吉岡美奈子

山容を変えつつ流れ秋の雲

根子岳の裾の小山も秋爛る

内田つね代

花野ゆく心を若き日に戻し

村山数恵

萩叢や芒叢やと田楽亭

吉岡民子

花野ゆく心を若き日に戻し

村山数恵

萩叢や芒叢やと田楽亭

吉岡民子

花野ゆく心を若き日に戻し

村山数恵

萩叢や芒叢やと田楽亭

吉岡民子

花野ゆく心を若き日に戻し

村山数恵

案内され坐れば庭に曼珠沙華
坂本松枝
式会社代表取締役社長 西川
通子氏(泗水町薬師出身)より
小、中学校及び幼稚園に各々
一張、(計五張)の寄贈を頂き
ました。誠に有難う御座居ま
した。

“教育用テントの寄贈”
このほど、九州警備保障株
式会社代表取締役社長 西川
通子氏(泗水町薬師出身)より
小、中学校及び幼稚園に各々
一張、(計五張)の寄贈を頂き
ました。誠に有難う御座居ま
した。